



左から私(佐藤)、和田長官、亀岡衆院議員、渡辺副委員長

政府予算要望

福島県議会商労文教委員会は7月29日、経済産業省、観光庁、文部科学省に対して二〇二三年度当初予算編成にかかわる要望活動を行いました。

新型コロナウイルス感染症によって書面要望を余儀なくされていた政府予算要望活動は2年ぶりの開催となり、商労文教委員会の委員長との副委員長の二名が委員会を代表して永田町と霞が関を訪れました。

当日は、本県選出国会議員の議員会館事務所に訪れ、その後福島1区選出の亀岡偉民衆議院議員とともに経済産業省、観光庁、文部科学省に向かいました。経済産業省では、多田明弘事務次官に対して、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業推進とビジネス機会の創出に向けた関連産業の育成と集積、今後避難者の帰還を促進するため必要となる生活環境の整備や交流人口・消費の拡大など、さらには福島イノベーション・コースト構想に起因する新産業創出の波及効果を県内全域

に行き渡らせるための支援について意見を交わしました。

和田浩一観光庁長官には、新型コロナウイルス感染症によって大きな打撃を受けた観光業への支援はもとより、風評払拭による観光誘客促進や全線再開となるJR只見線の活用促進に関する支援について要望して参りました。

文部科学省では、末松信介文部科学大臣、池田佳隆副大臣にご出席いただき、避難指示解除等に伴う学校再開等への中長期的な支援として、避難地域12市町村に対するハード・ソフト両面の継続支援をお願いしました。



8月3日から降り続いた大雨によって、喜多方市や西会津町、北塩原村や猪苗代町が大きな被害に見舞われました。特に日橋川流域の内水氾濫による床上床下浸水、ほ場への土砂流入や道路の崩落のほか、濁川に掛かるJR磐越西線の鉄橋の被害は甚大でした。

東北・北陸豪雨の被害調査と緊急要望を実施

4日の早朝から私と江花貴義(喜多方市・耶麻郡選出)は現場の被害状況を見て回り、臨時国会で身動きの取れない本県選出の国会議員に画像や情報を送り続けました。

6日には、私を含む自民党県議4名と菅家一郎衆院議員、星北斗参院議員が各市町村長とともに現地を調査、翌週には県や国に復旧支援の緊急要望を実施しました。

復興加速化と経済再生へ

幕末から西南戦争へ 「順逆の歴史展」

先日、福西本店で開催中の「順逆の歴史展」に足を運びました。私の後援会の会長でもある米山高仁(若松商家めぐりの会)会長が所蔵する錦絵や掛け軸など、歴史的資料としても貴重な作品三十点が展示されています。

なかでも私が気になった作品の一つ、石川桂堂画「忠臣義士図」は、白虎隊自刃の図の周囲に「東山温泉」や「石部楼」、「塔のへつり」などが配されるなど、まるで観光案内のパンフレットのような印象を受けました。

一見の価値「あり」です。

入館料は三百円
(養高生と保護者は無料)
開催期間は9月4日まで



福島大学の議員インターンシップ生

3名が只見線や奥会津の魅力を体験

毎年この時期には、私のもとへ議員インターンシップの申し込みがあります。有権者になった学生の皆さんに少しでも政治に関心を寄せてほしいとの思いから、毎回数名の学生を受け入れています。

今回は福島市出身一名、そして私のもとでは初となる会津若松市出身の学生が二名参加しています。

さて毎回行つのは会津での合宿です。事前のワクチン接種や体調管理に努めて実施した8月7日からの奥会津研修では、実際に只見線に乗り、車窓からの風景を楽しむ一方で、各駅の乗降者数調査、車内アナウンスの内容や駅舎の老朽具合など

を調査しました。

途中、東北電力奥会津水力館「みおり」で只見川電源開発の歴史に触れ一路只見町へ。湯ら里で開催された「これからの只見線と観光振興を考えるシンポジウム」に出席して、観光振興策に関する理解を深めました。

この日、学生らは金山町の「ゲストハウスかくじょう」に宿泊。ここは囲炉裏のある築二百年以上の古民家を再利用した施設で、付近には大塩天然炭酸水や大塩温泉があります。ちなみに私と男性ドライバーは車で10分ほど離れた「農家民泊ないうろ」へ宿泊しまし

た。山あいののどかな場所に佇む一軒家で、若いオーナーの安藤夫妻は、お二人も他所から金山町に移住して出会い、結婚されたそうです。ご夫妻で奥会津での暮らしを楽しまれている様子でした。二日目は車窓から見た景色を船上から眺める「霧幻峡の渡し」を体験。陽光が降り注ぐ川面に僅かに立ち上る川霧は、まさに霧幻峡の名に相応しい幻想的な光景を映し出し、雪解け水の流れに涼しさを感しながら雄大な自然を満喫しました。

午後は会津若松に戻り七日町を散策した後、まちなみ再生事業につ



福島県立博物館令和4年度夏の企画展 新選組展2022

新選組展2022
— 史料から辿る足跡 —

7/23 - 9/19

開館時間：9:30 - 17:00（入館は16:30まで）
休館日：7/23、20、27
8/6、13、20、27、9/3、10、17、24
入館料：大人 1,000円、小学生以下 500円（小学生以下無料）
観覧料：大人 1,000円、小学生以下 500円（小学生以下無料）
観覧料：大人 1,000円、小学生以下 500円（小学生以下無料）

新選組は小説、アニメ、ドラマ、映画などで広く親しまれてきた一方で、近年歴史学の分野では調査・研究が進み、従来の新選組像とは異なった姿も明らかになっています。

本展ではこれら最新の知見を加味しながら、会津、京都という新選組と深く結びついたゆかりの地を舞台に新選組の実像に迫ります。（パンフレットから抜粋）

【会期】7/23～9/19
【観覧時間】9時30分～17時
【観覧料】一般千三百円、高校生八百円、中学生以下無料

編集後記

9月の主な予定

【1・2日】議員インターンシップ研修
【9日】自民党議員会各種団体要望聴取会
【11日】ふくしま植樹祭、会高同窓会総会
【12日】自民党議員会各種団体要望聴取会
【13日】会津方部商工観光団体協議会懇談会
【20日】県議会9月定例会開会（本会議）
【22日】代表質問
【26日】代表質問
【28・29日】一般質問
【30日】常任委員会

会津まつりは今年で70回の節目を迎える。第1回は1953年10月3日～5日に行われ、御神火リレーや大名行列、花火大会や盆踊り、山車祭など多彩な催しが繰り広げられました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大により、会津藩公行列の市中行進を中止するなど大幅に規模を縮小しましたが、今年からは従来の形に戻しての開催。大きな盛り上がりを見守っています。